

令和6年度システム委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

(1) メールによる審議

- ・ 委員の選任および令和6年度事業計画について(令和6年8月1日~7日)
- ・ 令和6年度システム委員会活動経過報告について(令和6年10月17日~22日)
- ・ 令和6年度国立大学図書館協会シンポジウムについて(令和6年11月18日~22日)

(2) 第1回会議

日時:令和7年3月17日(月)オンライン(Zoom)

議題:ワーキンググループ活動報告ほか

(3) システム事例共有ワーキンググループミーティング(オンライン(Zoom))

第1回:令和6年7月11日(木)

第2回:令和6年8月8日(木)

第3回:令和6年9月12日(木)

第4回:令和6年10月10日(木)

第5回:令和6年11月14日(木)

第6回:令和6年12月12日(木)

第7回:令和7年1月30日(木)

第8回:令和7年3月13日(木)

議題:活動計画、各企画の進捗状況確認ほか

(4) 資料・情報アクセス検討ワーキンググループミーティング(オンライン(Teams))

第1回:令和6年8月21日(水)

議題:活動計画ほか

(5) その他、Slack 及び Backlog による意見交換を行った。

2. 活動内容

(1) 令和6年度事業計画の策定

国立大学図書館協会ビジョン2025「重点領域1. 知の共有:蔵書を超えた<知識や情報>の共有」「目標1-3)知識や情報の発見可能性の向上」に資する活動として、システム事例共有に関する取り組み及び資料・情報アクセスに関する取り組みを行う2つのワーキンググループを設置して活動をすすめていくこととし、委員およびワーキンググループで意見交換を行った上で、令和6年度事業計画を策定した。

(2) システム事例共有に関する取り組み

令和5年度に実施したシステム事例調査・意識調査の結果を踏まえ、会員館現場スタッフの課題解決に役立つ勉強会等を企画、実施した。令和6年度のおもな実施事業は以下①～⑥のとおり。なお、①～②、④～⑥は企画実施後に内容をまとめ、国立大学図書館協会 Web サイト「図書館を DX(ヘンカク)する」ページで公開した。

① デジタルアーカイブのノウハウ共有会(インタビュー)

山口大学附属図書館の「貴重資料デジタルコレクション」を対象として、デジタルアーカイブの運用管理に関する担当者インタビューを実施した。

② SNS の運用ノウハウ共有会

会員館 5 機関の担当者の協力を得て、令和 6 年 7 月に SNS 運用ノウハウ共有会をオンラインで開催し、継続的かつ効果的に SNS を運用するための事例・課題の共有や情報交換を行った。

③ ローコードアプリ開発勉強会

会員館職員を対象として、Microsoft Power Apps による業務用アプリ作成のためのオンライン勉強会(全 2 回)を開催した。

日時:令和 6 年 9 月 13 日(金), 20 日(金)

参加者数:24 名

④ 電子書籍広報の事例共有会

会員館 4 機関の協力を得て、令和 6 年 10 月に電子書籍広報の事例共有会をオンラインで開催し、広報ツールや運営体制等の情報共有を行った。

⑤ はじめての人のための RPA 事例共有

これまでのシステム事例調査で概要を得られた RPA(Robotic Process Automation)事例の一部について、より詳細な設定手順の解説をまとめた。

⑥ 「東京大学附属図書館 蔵書 1000 万冊記念 1000 万冊のストーリー」制作に関するインタビュー

「東京大学附属図書館 蔵書 1000 万冊記念 1000 万冊のストーリー」を対象として、制作担当者へインタビューを行い、業務実施体制やスケジュール、使用したツール等、企画実施に関する情報収集を行った。

(3) 図書館システム一覧の作成

会員館の図書館システムに関する基本情報と関連情報を会員館間で共有し、相互に参照可能とするための「図書館システム一覧」を、国立大学図書館協会会員用ページに作成した。

(4) AIへの対応

AIの課題について現状の把握を行うため、会員館におけるAI活用事例調査を実施し、結果を取りまとめて会員館へ情報提供した(回答館数:71館)。

総務委員会と共催で、令和6年度国立大学図書館協会シンポジウム「AI時代における大学図書館の対応:課題と展望」を企画実施した。

(5) これからの学術情報システム構築検討委員会との協力

当委員会の委員やワーキンググループメンバーがこれからの学術情報システム構築検討委員会の委員や作業部会員を兼ねることで、総合目録データベースをはじめとする学術情報システムに関する情報共有を行った。

「図書館システムガイドライン」の公開に向けた最終案に対して、システム委員会として意見を取りまとめ、これからの学術情報システム構築検討委員会に提出した。

これからの学術情報システム構築検討委員会システムワークフロー検討作業部会ILL・電子ブック班との座談会を開催し、ILLシステムの課題等に関する意見交換を行った。

3. 委員構成

◎システム委員会

委員長:	佐久間 淳 一	名古屋大学附属図書館長
委員:	嶋 田 晋	茨城大学研究・社会連携部学術情報課長
	斎 藤 未 夏	筑波大学学術情報部長
	平 田 完	新潟大学学術情報部学術情報サービス課長
	加 藤 淳 一	富山大学研究推進部学術コンテンツ課長
	次良丸 章	名古屋大学附属図書館事務部長
	阿藤品 治 夫	九州大学附属図書館図書館企画課長
	磯 本 善 男	放送大学学園情報部図書情報課長○
	磯 本 善 男	旭川医科大学研究・学術情報課長●
事務局:	富 岡 達 治	名古屋大学附属図書館情報管理課長
	小 嶋 悦 子	名古屋大学附属図書館情報管理課課長補佐○
	澤 口 由 好	名古屋大学附属図書館情報管理課課長補佐●

○システム事例共有ワーキンググループ

主 査:	阿藤品 治 夫	九州大学附属図書館図書館企画課長
副主査:	嶋 田 晋	茨城大学研究・社会連携部学術情報課長
	斎 藤 未 夏	筑波大学学術情報部長
	相 澤 裕 介	岩手大学法人運営部学術情報課主事○
	相 澤 裕 介	岩手大学法人運営部学術情報課主任●
	稲 毛 真 隆	東京科学大学情報部図書館情報管理課 図書館基盤グループスタッフ

西村 恭佑	富山大学研究推進部学術コンテンツ課事務職員○
藏堀 いぶき	富山大学研究推進部学術コンテンツ課事務職員●
高瀬 菜津	愛知教育大学学術研究支援課図書館運営室 資料利用係専門職員○
高瀬 菜津	愛知教育大学学術研究支援課図書館運営室 総務・受入係長●
佐藤 孝之	徳島大学学術情報部図書情報課総務係長○
佐藤 孝之	徳島大学学術情報部図書情報課雑誌情報係長●
山本 豪	鳴門教育大学教務部学術情報推進課 附属図書館事務室学術情報サービス係長○
山本 豪	徳島大学学術情報部図書情報課図書情報係長●
梶原 瑠衣	九州大学附属図書館図書館企画課企画係長

○資料・情報アクセス検討ワーキンググループ

主査:	加藤 淳一	富山大学研究推進部学術コンテンツ課長
副主査:	磯本 善男	放送大学学園情報部図書情報課長○
	磯本 善男	旭川医科大学研究・学術情報課長●
	平田 完	新潟大学学術情報部学術情報サービス課長
	次良丸 章	名古屋大学附属図書館事務部長
	佐藤 美穂	名古屋大学附属図書館情報サービス課 調査学習支援グループ係長
	花原 稔	三重大学国際・情報部図書館課図書館チーム主任○
	花原 稔	三重大学図書・情報部図書館チーム主任●
	夏目 慎也	滋賀大学附属図書館図書情報課 図書情報サービス第一係主任○
	疋田 恵介	佐賀大学学術研究部情報図書館課係長(学術情報主担当)

○:令和7年3月31日まで

●:令和7年4月1日から